九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

九州大学キャンパスに眠る埋蔵文化財 : 元寇防塁を中心に

田尻, 義了
九州大学埋蔵文化財調査室

https://hdl.handle.net/2324/18759

出版情報：貴重文物講習会. 39, 2010-12-17. 九州大学附属図書館
バージョン：
権利関係：

貴重文物講習配付資料　　2010 年 12 月 17 日

九州大学キャンパスに眠る埋蔵文化財-元寇防塁を中心に-

九州大学埋蔵文化財調査室
田尻義了

文献資料に残る箱崎・馬出キャンパスの元寇防塁

資料１

・中山平次郎　「箱崎の石塁」大正 2 年（1913）6 月 12 日～ 20 日まで福岡日日新聞連載

千代の松原の医科大学の裏境に沿うて、一の低き凸地があり、又、箱崎網屋の墓地より、工科大学構内を貫いて、地蔵松原墓地に達する一の低き凸地がある。

資料２

・中山平次郎　「博多湾の海岸線」昭和元年（1925）雑誌『地球』掲載

箱崎方面に於ては、我医学部構内から、工学部及農学部の構内を貫いて、昔の多々良潟の岸に達する土堤の痕跡があり、その終点には先年私が内務省の久松信正氏と共に発掘した石垣の残余がある。又、工、農両学部に於る痕跡からも、塁石が見出され、その或ものは今日なお保存されている。

資料３

・『元寇史蹟(地之巻)』昭和 16 年(1941)　福岡県史蹟名勝天然記念物調査報告書第 14 輯

★糟屋郡地蔵松原　大部は工学部農学部内にあり

【位置】

一光寺裏より防塁線は大学工学部の構内松林の内縁に沿って北進し、運動場を経過して農学部との境に於いて、著しき隆起線あり、農学部に入りて、尚隆起線を連続しそれより消えて農学部の動植物教室、農学教室を経過し右折して東北にむかい柵外に出て、箱崎町共同墓地に於いて約 4 間(1 間=1.818m・約 7.2m)発掘せられて築石の露出せるを見たり。

【長さ】　工学部構内　約 276 間(約 501m)　うち隆起線　約 16 間(約 8. 8m)
　　農学部構内　約 143 間(約 259m)　うち隆起線　約 32 間(約 58m)
　　農学部構外より墓地の終端まで　約 57 間(103m)

【高さ】　農学部構内隆起線　10 間を隔てて西方より測れば高さ 4 尺(約 1.2m)
　　6 間を隔てて東方より測れば高さ 3 尺(約 0.9m)

★筑紫郡千代松原　糟屋郡箱崎松原

本防塁線の位置は明確ならず。

現今九州帝國大学医学部の構内裏西方松林石祠(火葬場の横納骨堂)付近より起り多少の隆起あり、構外に出でて所在不明となる。

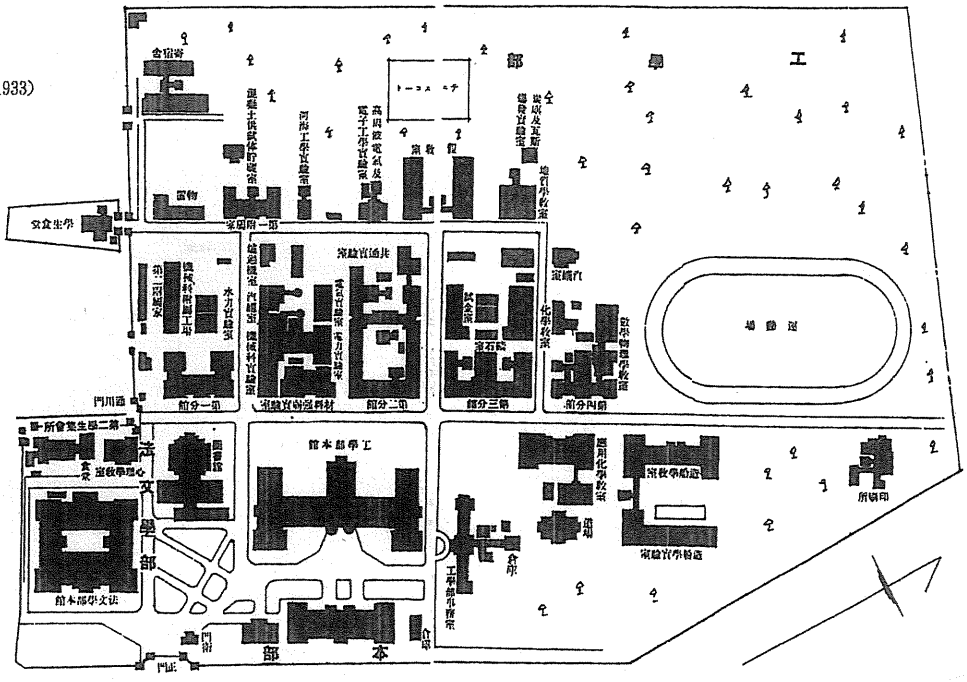
医学部構内の長さ　364 間(約 661m)

箱崎宮浜往還の両側箱崎小学校の西方一帯南北に連なる隆起線あり、起点と終点は不明なり、小学校裏の隆起線 50 間(約 90m)あり。箱崎宮浜鳥居の西方海岸へ数十間を隔てて一帯の高地の広がりと思われる所あり。その他にも隆起の跡と認められるものあれども、1 つも連続せるものなし。

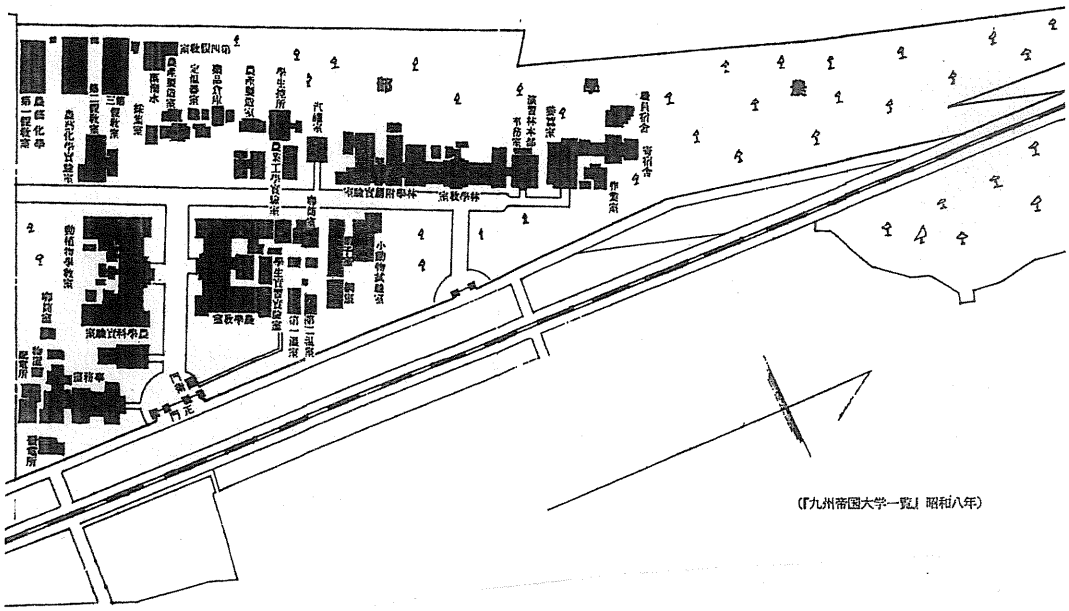
網屋町にも明瞭なる隆起線なし。

一光寺の墓地は明らかに高地たるを認め得るも、この間は 50 間(約 90m)に過ぎずして不明である。

本部，工学部，法文学部（1933）



農学部（1933）



（『九州帝国大学一覧』昭和八年）

医学部（1933）　（『九州帝国大学一覧』昭和八年）